

見落とされがちな連携の重要性：
3つの事例から見る、
ERP導入成功のカギ

パナソニック デジタル株式会社



岡本 侑璃

Okamoto Yuri

社名：パナソニック デジタル株式会社

所属：営業推進統括部

ミッション：民間企業向けセールス活動

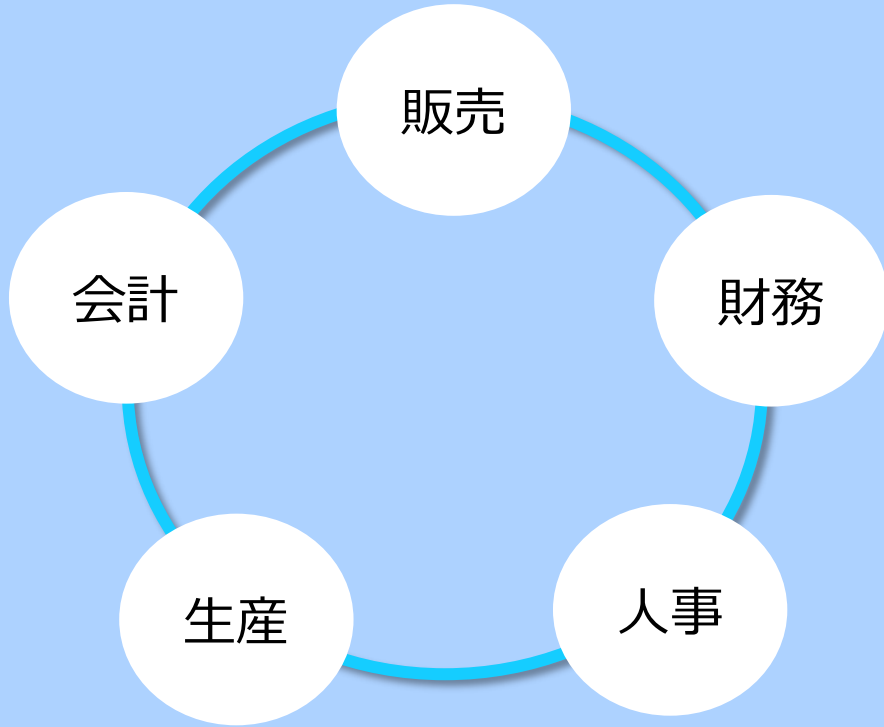


- ERP導入におけるポイント
- ERPのデータ連携の事例 3選
- データ連携基盤の構築について
- パナソニック デジタルの連携における取組

ERP導入におけるポイント

標準機能で対応できない業務は
SaaS等の周辺システムでカバー

ERP



クラウド

SFA

CRM

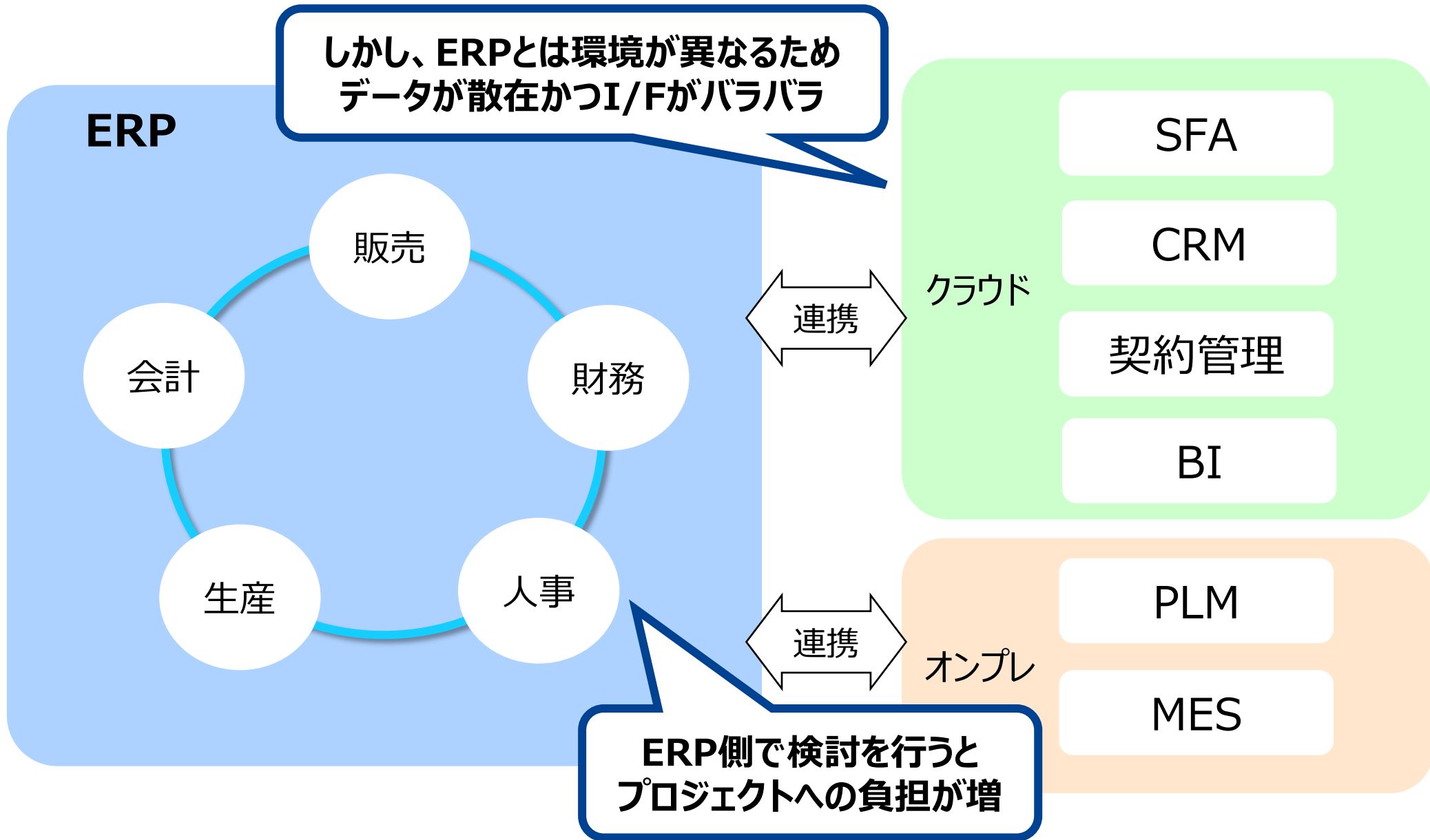
契約管理

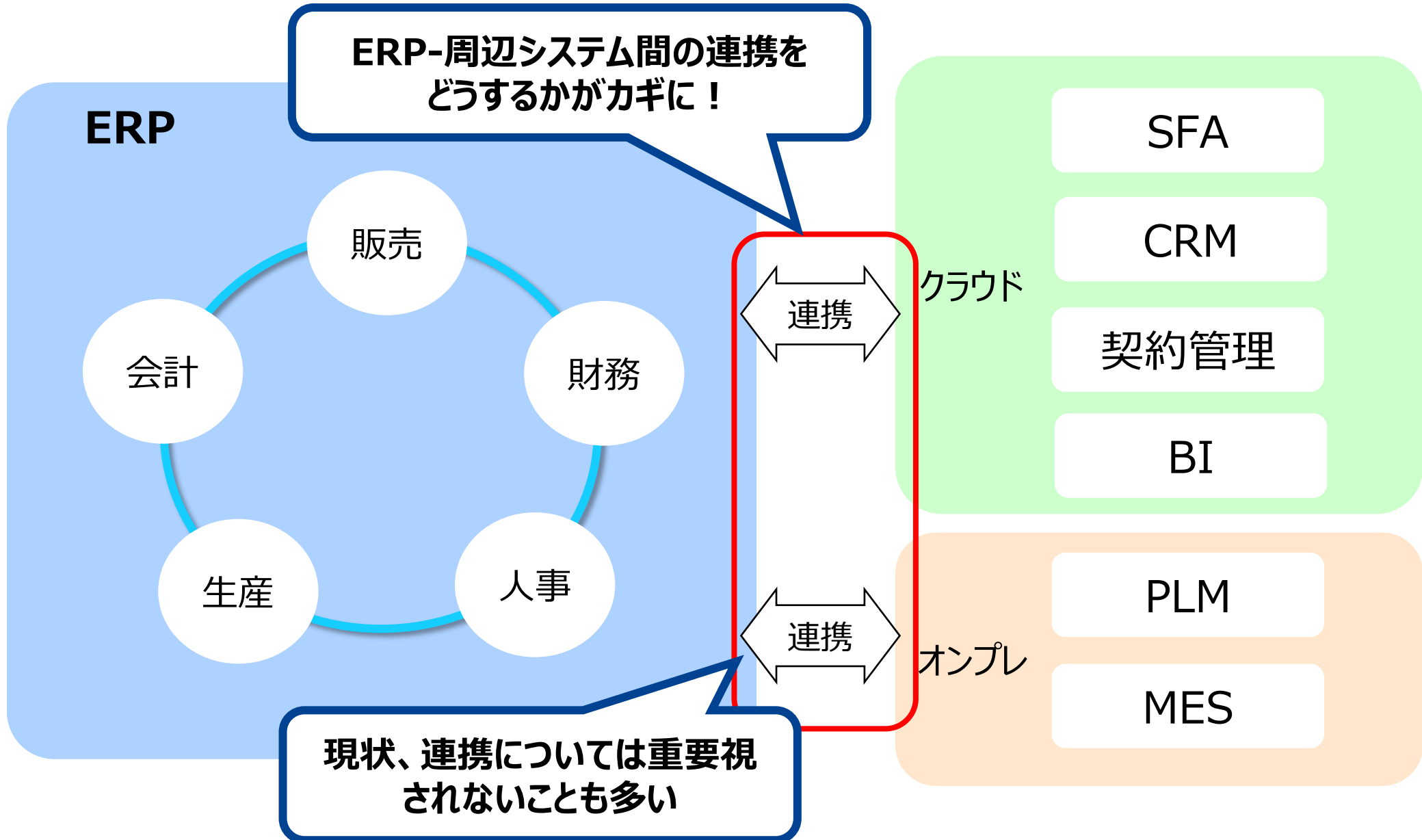
BI

オンプレ

PLM

MES





- プロジェクト推進や社内、ベンダーとの調整に時間とリソースを取られる
- コアとなるERP機能の実装が優先される
- インターフェース仕様の決定が遅れがちになる
- 連携の複雑さが過小評価される



多くの企業がERP導入時に**周辺システム連携**の優先度が下がることにより、プロジェクト終盤で大きな課題に直面しています。

プロジェクト遅延

終盤での時間不足により
全体のスケジュールに影響

追加コスト発生

後から対応するための追加
開発費用が発生

データ整合性問題

システム間のデータ不整合
によるビジネス影響

業務プロセス分断

システム間の連携不足による
業務効率の低下

ユーザー満足度低下

システム間の連携不足による
ユーザー体験の悪化

拡張性の制限

将来的なシステム拡張が
困難になる

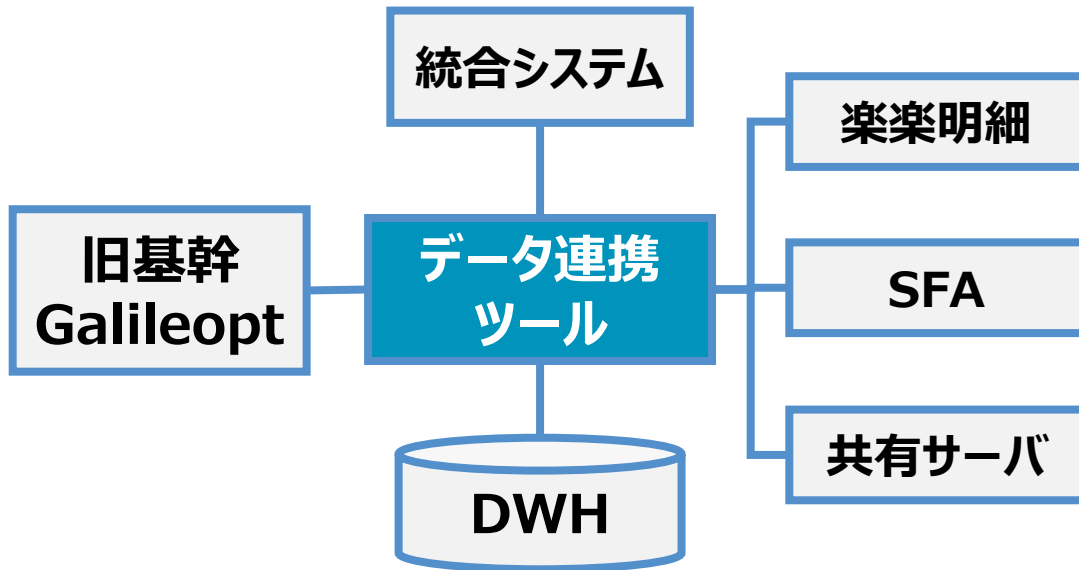
連携の問題は単なる技術的課題ではなく、
ビジネス全体に影響を及ぼす戦略的な課題です。

ERPのデータ連携の事例 3選

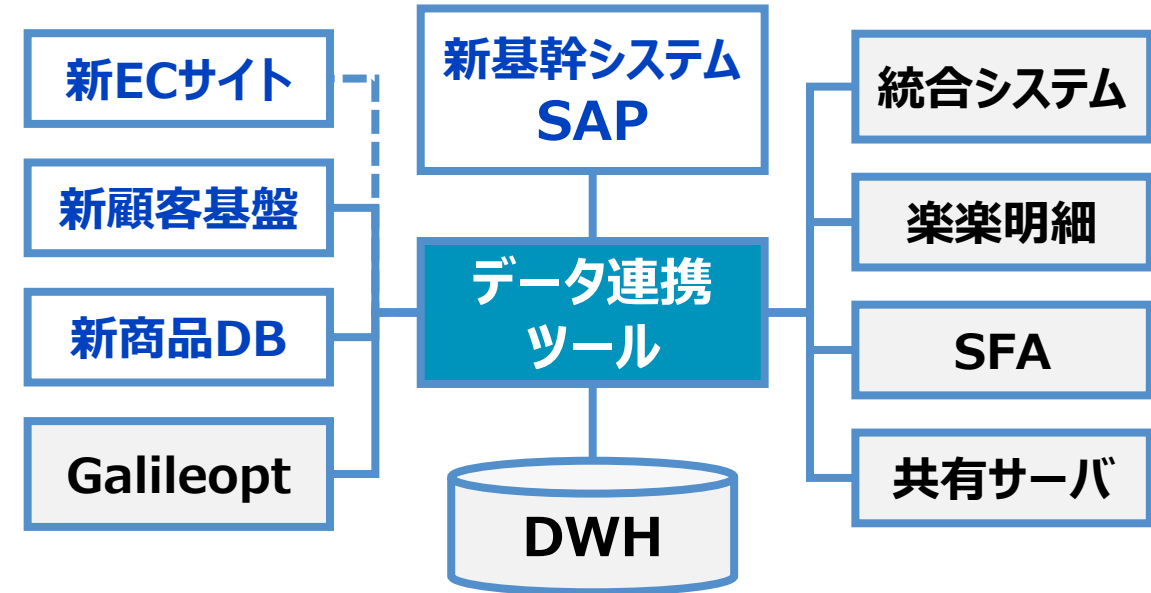
建設業様

旧基幹システムからSAPへの切替において、新システム連携を並行して推進

Before



After



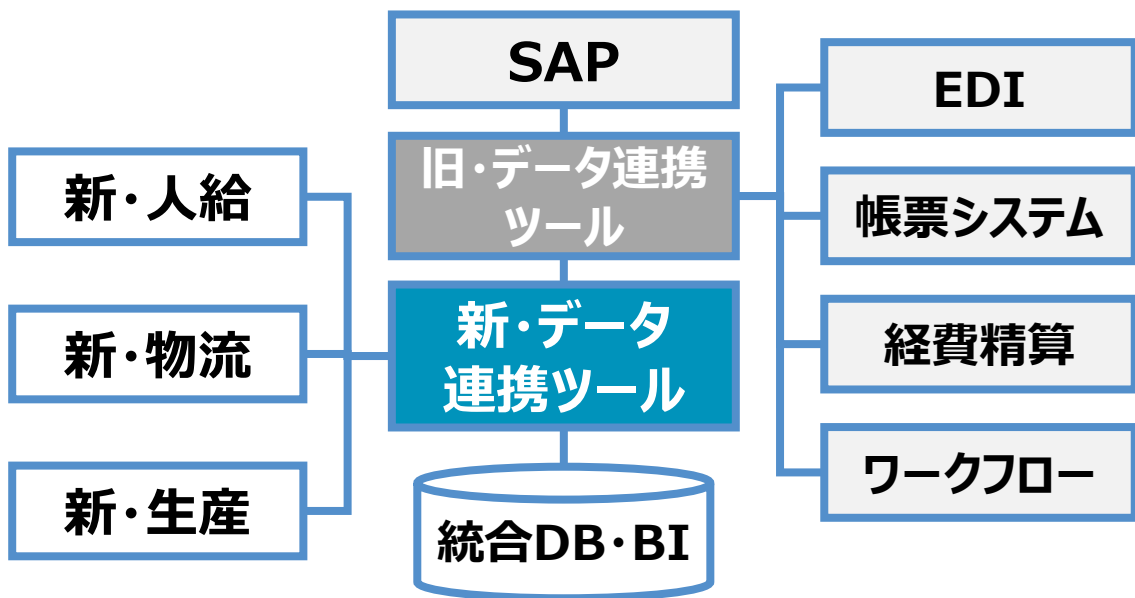
ポイント

- ✓ 既存のデータ連携ツールを活かし、SAPと新規システムを**並行導入**
- ✓ 業務要件に応じて、ファイル・バッチ連携と、アダプターを追加し**リアル連携**を実現

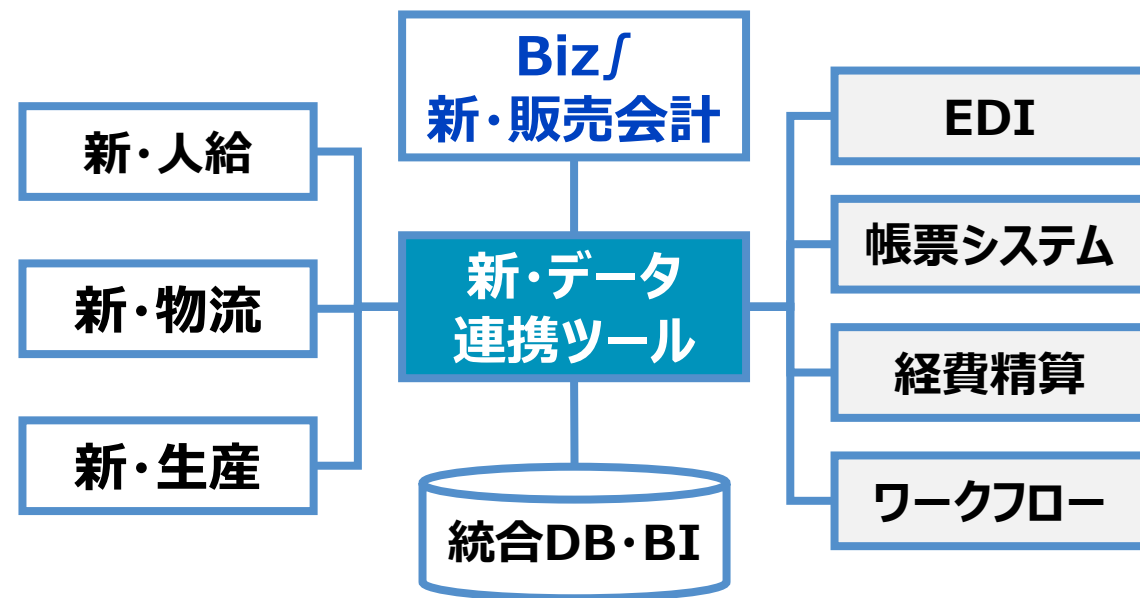
民生・産業資材・建材・化学品メーカー様

段階的な基幹システムの移行切替をデータ連携基盤の構築でスムーズに

Before (Step1~2)



After (Step3)



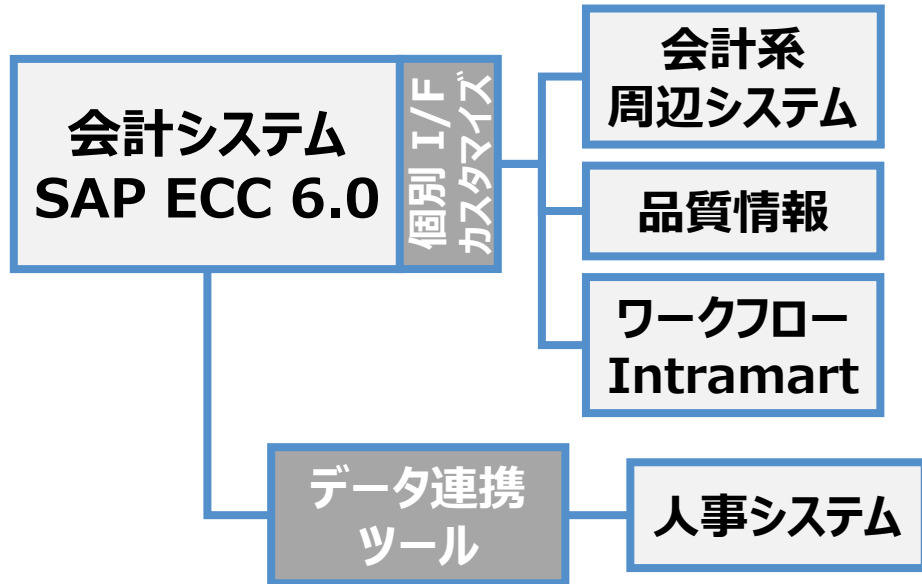
ポイント

- ✓ **段階的に**SAPから人事給与・物流・生産システムとデータ連携ツールを導入
- ✓ **テンプレートの活用**により新システムのカスタマイズと既存のIF改修を最小限に

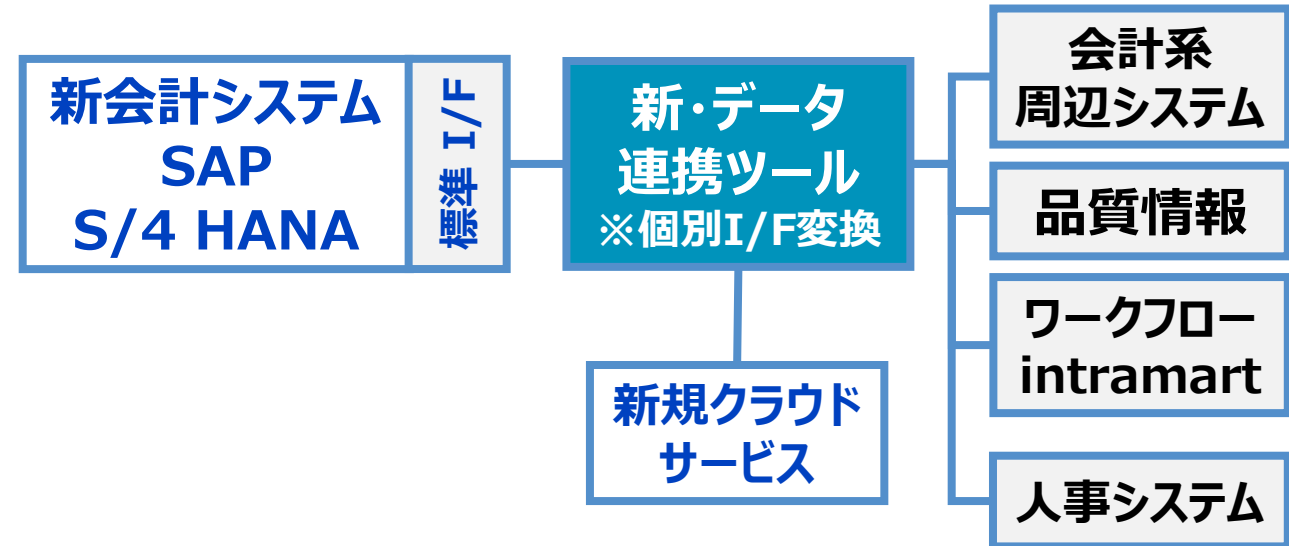
輸送業様

ERPの連携IFを全てデータ連携ツール経由で実現することによるTCO削減

Before



After



ポイント

- ✓ 周辺との連携を、SAP側の個別カスタマイズから**連携ツール側で変換**する構成へ
- ✓ **標準I/F利用**による共通化で個別処理を最小化し、工期通りに導入、TCOも削減



RFI/RFPの段階から連携対象が明確になっている



データ連携基盤を起点にしてERPと周辺システムを連携している



事業環境の変化・事業成長に対応できるようになっている

ERPは「作る」から「組み合わせる」時代へ。
連携は「付加機能」ではなく「**ERPの中核的要素**」として位置づけることが重要です！

従来のアプローチ

- ERPコア機能の実装が完了した後に連携を検討
- 連携のための時間とリソースが不足
- プロジェクト終盤での混乱と遅延



理想的なアプローチ

- 計画段階から連携システムを明確化
- ERPコア開発と並行して連携開発を実施
- 早期からの連携テストによる問題の早期発見

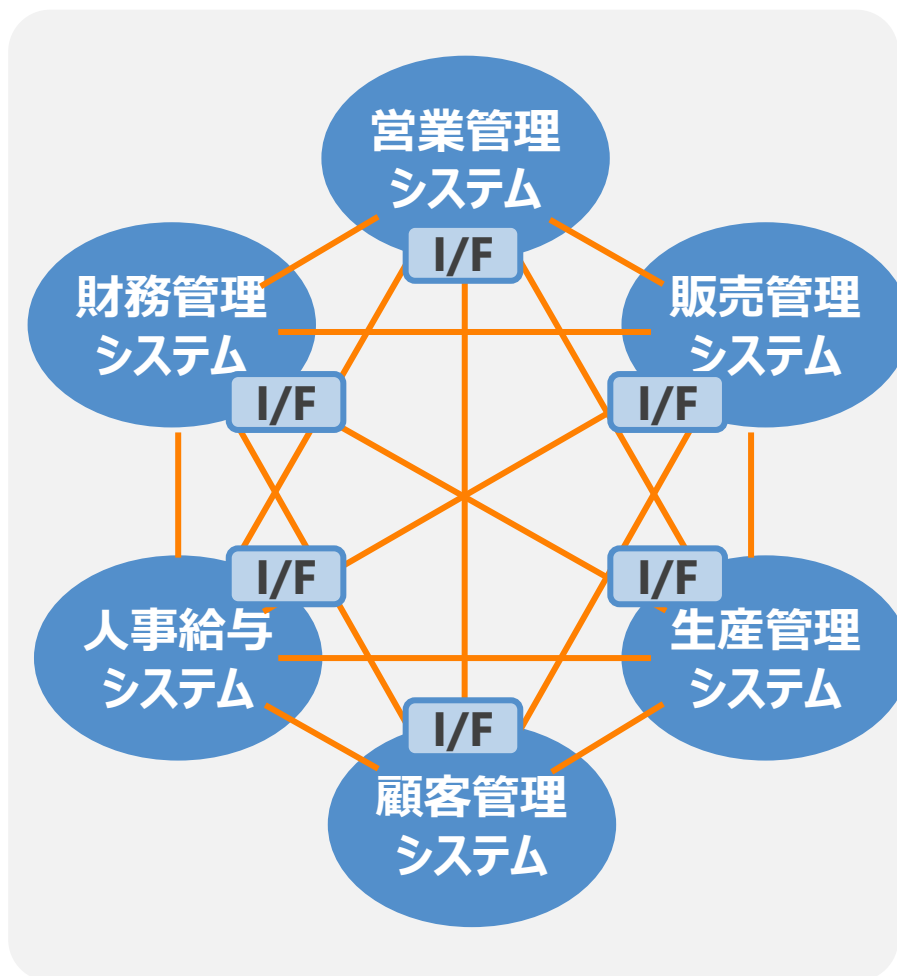


データ連携基盤の構築について

データ連携基盤の構築方法

	①スクラッチ開発	②ツール開発
		
1.コスト	△	○
2.機能	○	△
3.難易度	△	○
4.保守性	△	○
5.開発生産性	×	○
6.拡張性	△	○

インターフェースに関するコスト削減を求めて**EAIツールをご利用のお客様が増加**



**連携の一元管理で
対応スピードがアップ**

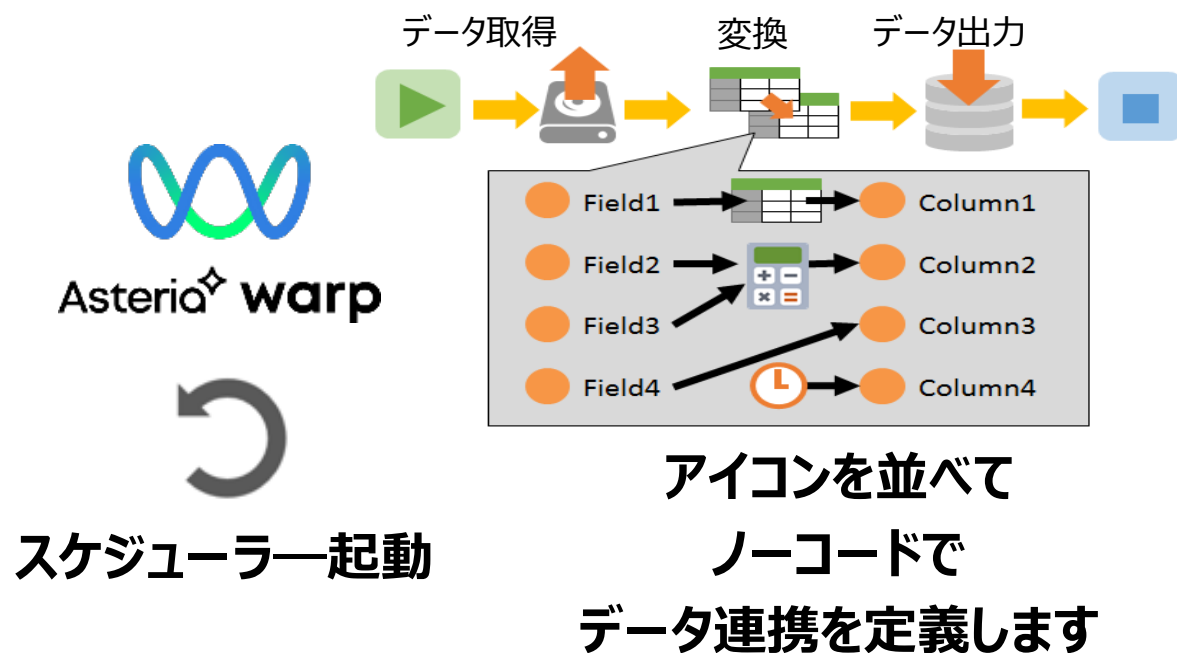
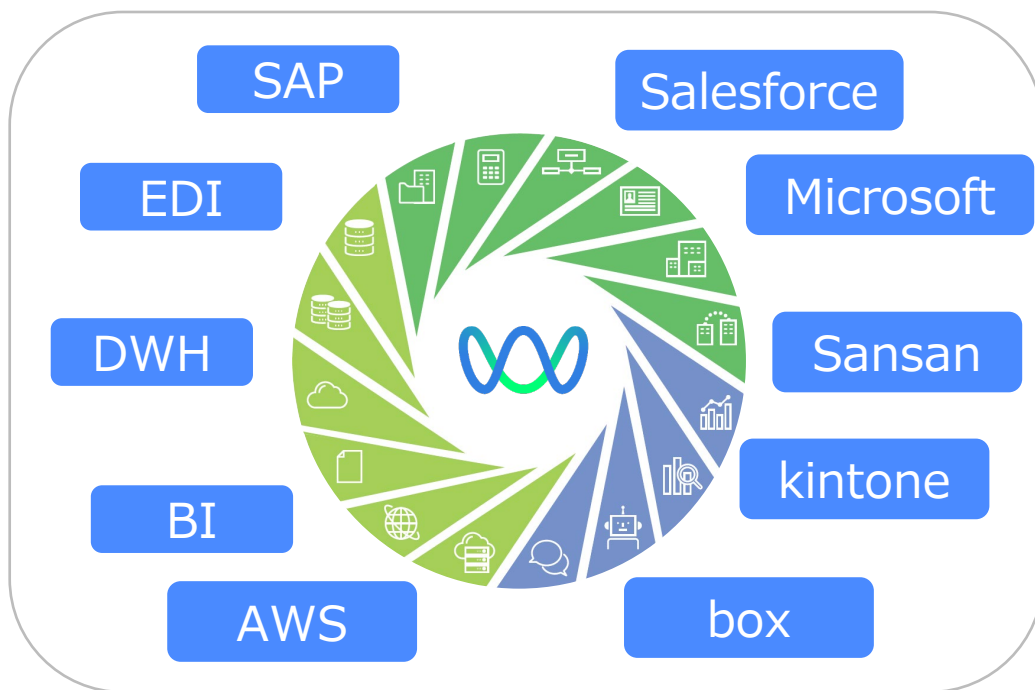
連携を一元管理することで、モニタリングが可能に。

障害発生も即時に把握でき、リカバリーまでの期間を短縮できる。

ノーコードで設計開発を行うことで、様々なシステムやサービスと連携し、業務の効率化やデータの活用を実現するデータ連携ツール

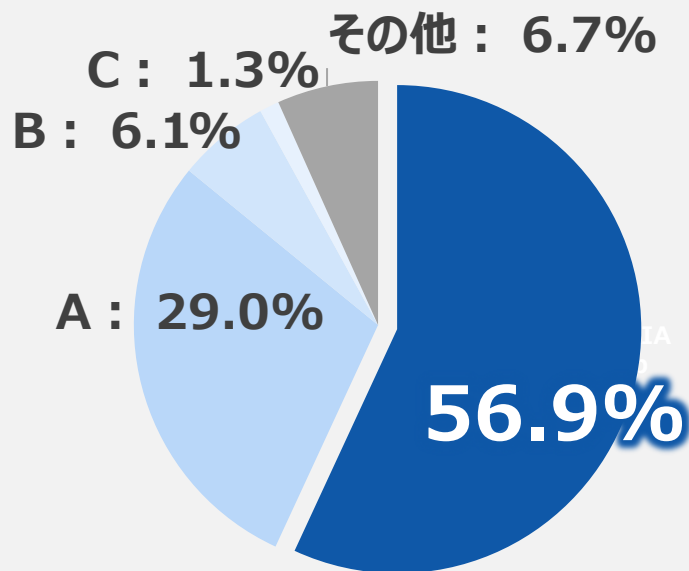
100以上のサービスやシステムと迅速に連携

シンプルな操作で超高速開発



理由 1

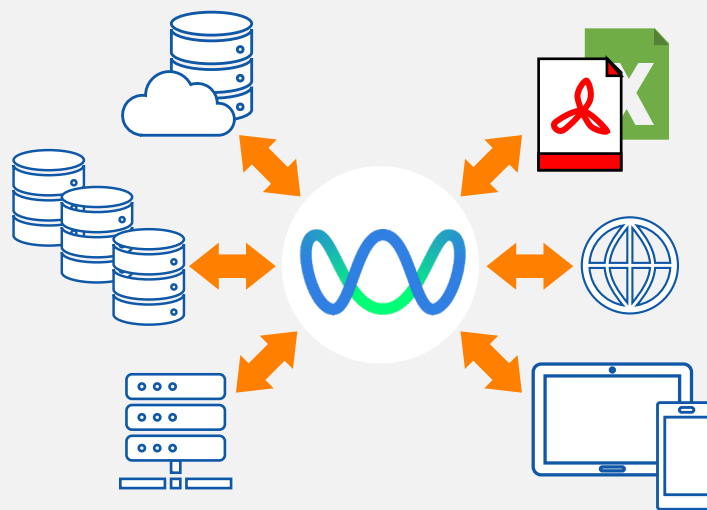
国内No.1のシェアを誇るデファクトスタンダード



出典：テクノ・システム・リサーチ「2024年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」

理由 2

ニーズに答える豊富なアダプタ



ERP接続のアダプターも豊富
API連携にも対応

理由 3

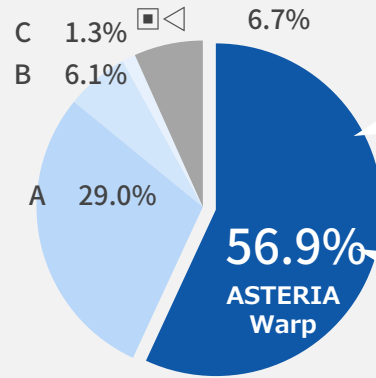
開発人材が豊富
ノーコードツール



ノーコードなので開発が簡単に
メンテナンス性も向上

理由1. 国内No.1のシェアを誇るデファクトスタンダード

2024年 EAI/ESB市場シェア



18年連続 シェア **No.1**

市場占有率は、2位の製品シェアの
約 **1.8倍**

テクノ・システム・リサーチ「2024年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」

導入社数

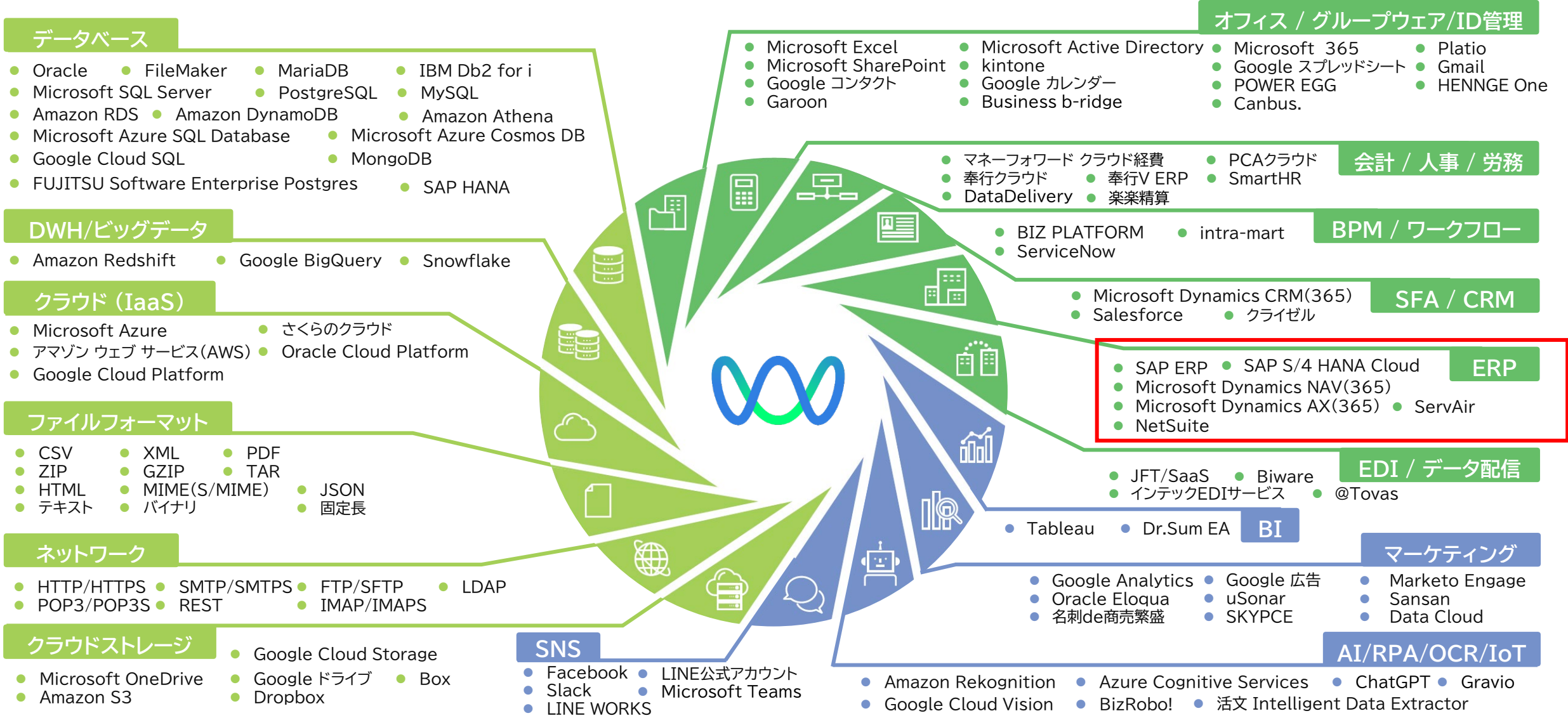


11,371社

2025年3月末現在








理由2. ニーズに応える豊富なアダプタ

100種類を超えるデータ連携先



理由2. ニーズに応える豊富なアダプタ～実行設定

スケジューラーやトリガーを設定することで、バッチ処理もリアルタイム処理も対応可能

	スケジューラー	ASTERIA Warpのカレンダーを利用し、定められた日時に実行 独自にスケジュールを定義することも可能
	メール監視	メールサーバーを定期監視し、メールを受け付けたタイミングで実行
	URLトリガー	フローに対してURLを割りつけ、ブラウザや他システムから リアルタイム実行
	FTPトリガー	ASTERIA WarpにFTP/SFTPでファイルを アップロードすることで起動
	コマンドライン	外部のコマンドより実行 JP1やSystem Walkerなどから実行可能
	メッセージキュー監視	JMSQueueシステム上の指定したメッセージキューを監視し、 メッセージを受信するとフローが起動
	Java API	独自開発したJavaアプリケーションからAPIを介して実行

対応
エディション

Core

Core+

Core++

Standard / Enterprise

理由3. ノーコードで高速開発を実現

フローデザイナー

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 実行(R) ツール(T) パージョン管理(S) ヘルプ(H)

コントロール ファイル データベース Excel インターネット ツール アーカイブ レコード ストリーム XML MIME Webサービス スケジュール アカウント DWH Tableau OnSheet Handbook Amazon Azu...

localhost - /guest
excel
kintone
tutorial
Exception[Exception.xfp]
Project1[Project1.xfp]
CSVFileToRDB
Work[Work.xfp]
最近開いたローカルファイル

名前 更新日時 サイズ リビジョン
excel 2018/10/16...
kintone 2018/10/16...
tutorial 2018/10/16...

Done at 14:34:30 (0.14 sec. elapsed)
Compiling Project: Project1
Flow: CSVFileToRDB ...OK

基本

プロパティ名	値
名前	CSVFileToRDB
タイムアウト (秒)	180
汎用エラー処理	Exception.exception
実行を許可するユー...	
ログ設定名	(なし)
ログレベル	システム設定

① ② ③

監視フォルダからCSVファイルを取得

データ変換・クレンジング・条件設定

RDBへ登録

コミット

ストリーム

- フィールド
- 商品
- C
- D
- 型番/メーカー
- F
- G
- 数量
- I
- レコード番号
- レコード件数
- ストリーム実数
- 名前
- コンポーネント
- マッパー実数
- フロー実数
- 外部実数セット
- システム実数

ストリーム

- フィールド
- 注文ID
- 顧客ID
- 申込日
- 商品名
- 型番
- メーカー
- 数量
- コンポーネント
- ファイルパス
- マッパー実数
- フロー実数
- 外部実数セット
- ステータス
- ログ

顧客名から顧客IDを取得

タイムスタンプを取得

ファイルパスを生成

① コンポーネントを選択

必要な処理をアイコン化した
コンポーネントをドラッグ&ドロップ
してつなげていくことでフローを作成



② プロパティを設定

コンポーネントの詳細をプロパティで設定

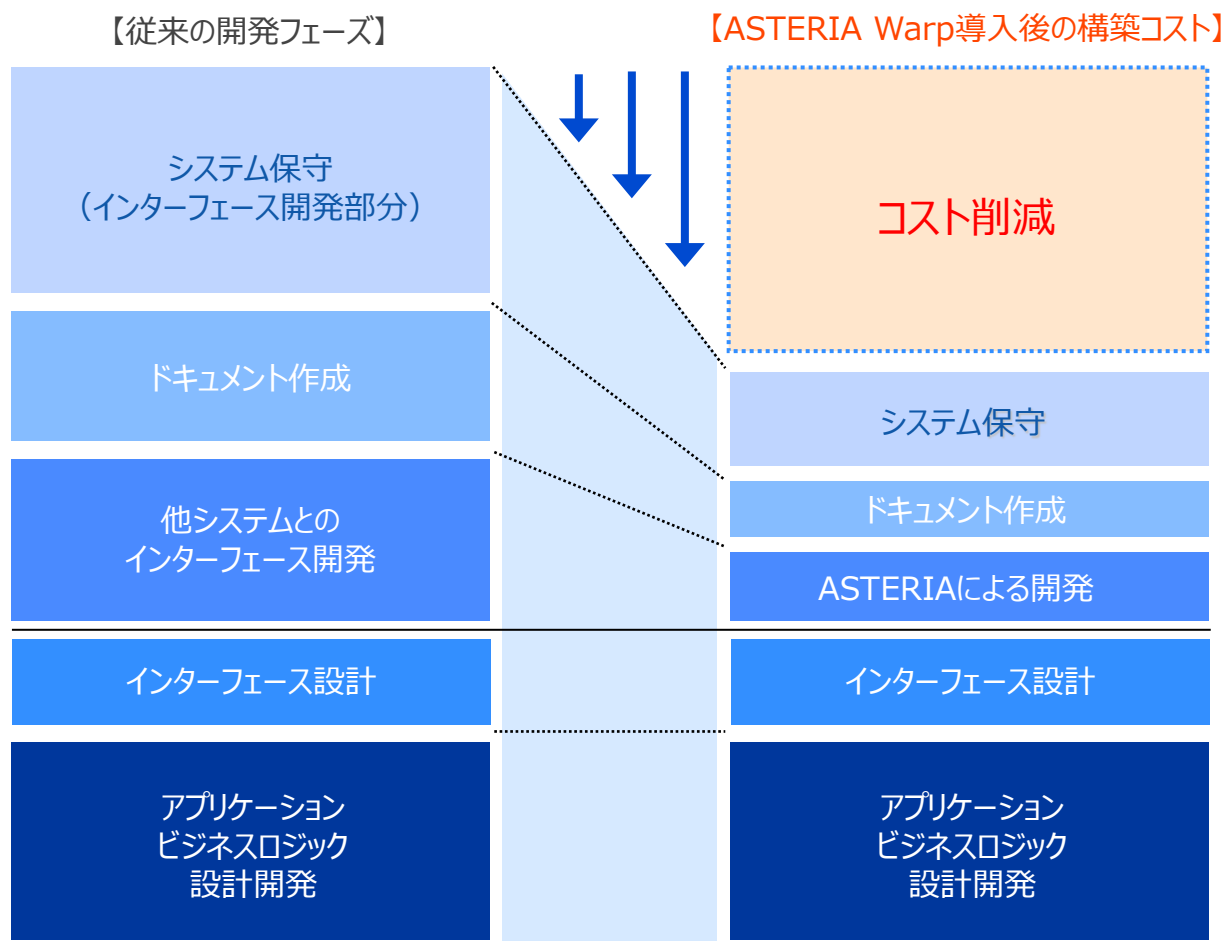


③ マッピング

マッパーコンポーネントを配置し、
データの加工変換をマウス操作で設定

理由3. ノーコード開発による導入のメリット

「工数の大幅削減」、「属人化の防止」



	システム開発時	システム運用時
品質	属人化を 방지、可視化されたシステム 高品質、開発言語の標準化	データ仕様変更や追加開発にも柔軟に対応
コスト	手組と比較し約50%工数コスト削減、高い生産性を実現 (当社事例より)	追加工数を割く事なく追加開発が可能 またエンドユーザによるメンテナンスも可能
納期	手組と比較し、短期間で納品可能	運用管理性の向上により保守体制の変更にも容易に対応可能

パナソニック デジタルの連携における取組

パナソニック デジタルの取組

サービスをつなぐASTERIA Warp +
パナソニック デジタルの独自のEAIサービスにより
お客様のデータ連携を支援しております

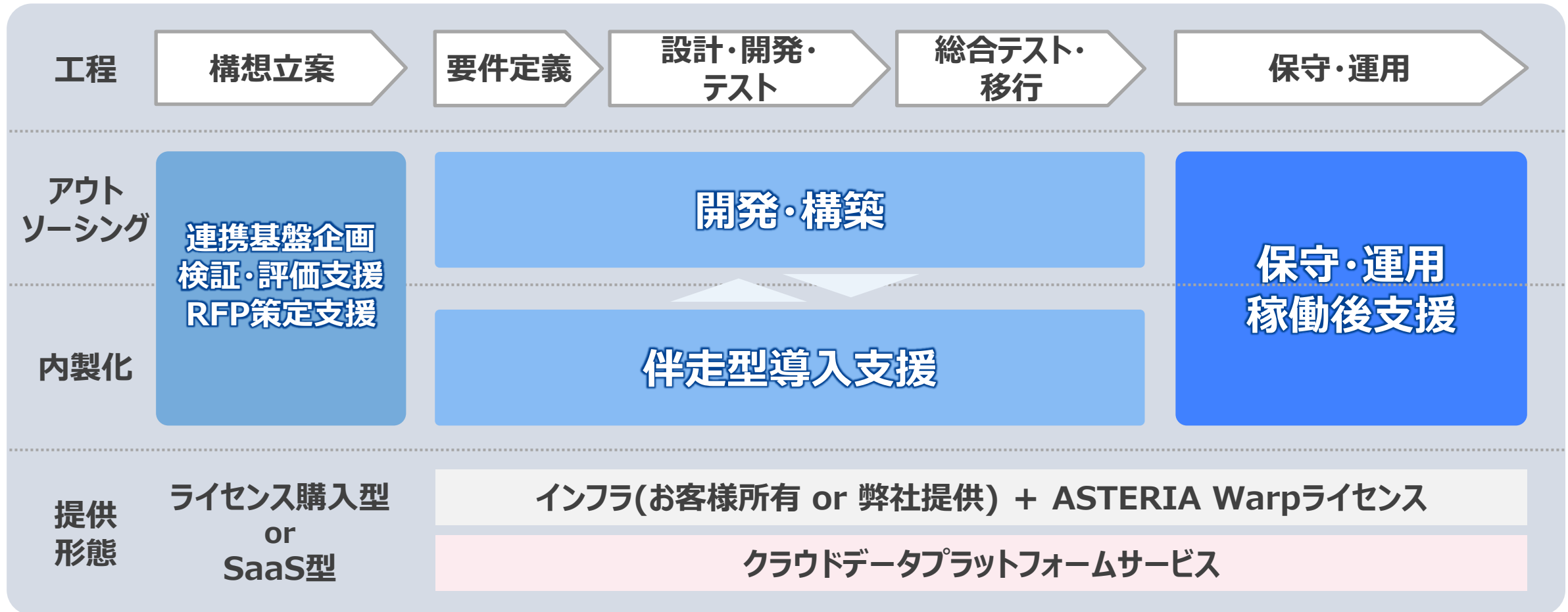
パナソニック デジタル



- ① **独自テンプレート/標準ドキュメント**により開発期間の短縮
- ② **豊富な支援メニュー**により**お客様の内製化も合わせて支援**
- ③ **実績・ノウハウがあるSE**にて導入・開発・運用各フェーズでアドバイス

専任SEによる弊社支援

弊社ASTERIA Warpの**専任のSE部隊**により、
上流～導入～運用・保守、内製化の支援までを実施



テンプレ活用により開発標準化・効率化・短期化を実現

各種テンプレ活用開発

- ✓ 主要なシステムとは送受信まで含めたI/F連携テンプレを活用
- ✓ 共通機能、データ授受の連携パターン毎に体系化
インターフェーステンプレ/ドキュメントテンプレ/ベーステンプレ/運用機能テンプレ
- ✓ 体系化された管理ドキュメント類の雛形を活用

開発工数 : 50%減
開発リードタイム : 30%減を実現

■従来の開発



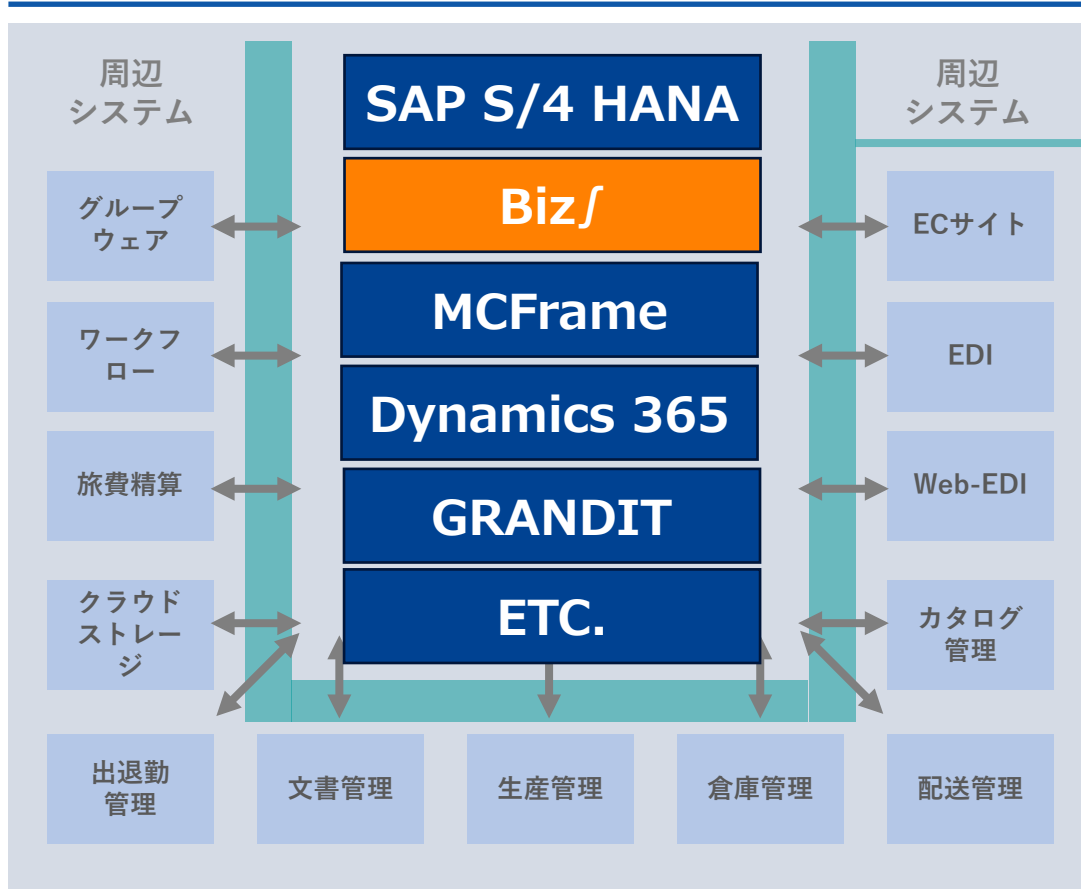
■テンプレ開発



様々なERPと連携した実績



連携のスペシャリストとして各種ERPとの連携実績も多数



- アダプターを利用しての開発
アダプターの特性を理解し開発を実施
- 弊社独自テンプレート/標準ドキュメントにより
開発期間を短縮
- マスターパートナー20年の実績・ノウハウをもつSEが
導入・開発・運用の各フェーズで参入
各種ベンダーとの窓口にも対応

弊社はASTERIA Warpマスターパートナーの内

ASTERIA Warp 販売実績 **No.1**

ご清聴ありがとうございました。

Panasonic